

日頃から災害への備えを万全に

自助・共助が大切です

自然災害そのものを防ぐことはできませんが、万一の災害時に自分や家族、そして自分たちのまちをどう守るのかを考えておくことが大切です。「自分の身は自分で守る」(自助)、「近所同士で助け合う」(共助)が、とても重要になります。各家庭で最低3日分の食料や水等を備蓄するとともに、各地区の防災訓練に参加し、家族や近所同士での安否確認や救出・救助、初期消火活動等、日頃から助け合える環境を作っておきましょう。

問い合わせ 防災課 (市役所5階)

大震災に備える

①避難場所等を確認する

各家庭に配布の「市民防災ハンドブック」などで自分の避難場所等を調べ、実際に歩いて確かめておきましょう。

家族で集合する場所や、非常時の連絡、安否確認方法について、話し合っておきましょう。



②地域の防災訓練に参加する

大地震が発生し、同時に多くの場所で災害が発生すると、市をはじめ消防や警察は、即時に対応することがほとんどできません。目の前の災害に対し、地域の人々が協力して対応しなければなりません。

そのため、日頃からの地域の結びつきや、いざというときの初期消火・救助等の応急対応の習得がとても重要です。各地区の防災訓練に参加し、近所同士で助け合えるよう、地域の防災力を高めましょう。

③家庭内備蓄をする

水、電気、ガス等のライフラインが止まり、食料等の物資の入手が困難になることを前提に、水、食料等を備蓄してください。

避難行動時に必要となる「非常持ち出し品」は、食料1食分、飲料水、必要な薬、現金等を袋に詰めて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

被災後の生活を支える「備蓄品」は、水(1日1人3ℓ)、食料、薬、粉ミルク等、家族や自分の状況に合わせた備蓄品を考え、最低3日分を準備しておきましょう。

水道や下水道が壊れるとすぐに問題となるのがトイレです。非常時に備え、簡易トイレ(便袋)も備蓄しましょう。

被災して備蓄品を失った方には、避難所で備蓄物資等を供給します。

④家具類等の転倒落下防止対策をする

地震発生時のケガの3~5割が、家具類等の転倒・落下・移動によるものとされています。家具等の下敷きになった場合、家屋の外へ避難できず、火災等から逃げ遅れるなど、命の危険性が高まります。

家具類の固定は、比較的安価で、すぐに実施できる有効な安全確保策です。寝室や居間など、過ごす時間の長い部屋から対策を始めてください。家具転倒防止器具は、防災用品専門業者やホームセンターなどで購入できます。

市では「家具転倒防止器具支給取付事業」を実施しています。詳細は、広報おうめ6月15日号4面または市ホームページをご覧ください。

⑤住宅の耐震性を確保する

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された建築物に大きな被害が見られ、建物倒壊により多くの死傷者が発生しました。

震度6強の地震で、旧耐震基準の木造住宅が全壊する割合は約5割とされ、耐震性の向上した新耐震基準ではこれが約1割になるとされています。

住宅の倒壊で命を失うことがないように、自宅の耐震性を調べ、必要な補強等を行い、耐震性を確保することが大切です。

台風シーズンに備える

これから台風シーズンを迎えます。気象情報や市からの情報に十分注意し、早めの避難行動をとるよう心がけましょう。

①住宅が「土砂災害警戒(特別警戒)区域」や浸水予想区域内にあるかどうか確認しましょう。

☆市民防災ハンドブックや市ホームページで確認できます。

☆気象庁から発令される気象警報等や市から発令される避難情報の種類を事前に調べましょう。

②自主避難に備えて、持ち運びやすい食料や防寒着を用意しましょう。

☆自主避難する場合は、食料、飲料水、防寒着など、必要なものを携行してください。

☆災害発生時は、随時、市ホームページ、市メール配信サービス、防災行政無線で、情報提供を行います。防災行政無線が聞き取れなかったときは、電話応答☎0800-800-0062(通話無料)をご利用ください。

青梅市総合防災訓練を実施します

阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災等の教訓を踏まえ、市、防災関係機関、市民等が一体となり、機関相互の協力体制の強化や市民の防災意識を高めるため、総合防災訓練を実施します。

日時 8月25日(日) 午前8時~10時

※雨天決行

会場 今井小校庭 ほか

※臨時駐車場(今井ふれあい公園)には限りがありますので、公共交通機関でお越しください。

内容 応急救護訓練、起震車体験、備蓄用非常食品の試食 ほか

その他 「防災ノート」を持参した小学生の親子には、参加スタンプの押印と景品を用意しています。ぜひ参加してください。



各地区の防災訓練

| 地区 | 日程 | 時間 | 会場 |
|-----|-------------------|-----------|-----------------|
| 大門 | 8月25日(日) | 午前8時から | 今寺四丁目運動広場 |
| | | 午前8時30分から | 大門第二運動広場 |
| 梅郷 | 8月25日(日) | 午前8時30分から | 本部訓練・梅郷市民センター |
| | | 午前10時から | 各地区訓練・6会場 |
| 成木 | 8月25日(日) | 午前9時から | 成木2丁目運動広場 |
| 東青梅 | 8月25日(日) | 午前8時から | 東青梅市民センター |
| 小曾木 | 9月1日(日) | 午前8時40分から | 七小、六中、小曾木市民センター |
| 河辺 | 9月1日(日) | 午前8時40分から | 若草小 |
| 新町 | 9月8日(日) | 午前8時から | 都立誠明学園グラウンド |
| 長淵 | 9月~12月に連合自治会単位で実施 | | |

※沢井地区は5月26日(日)に六小校庭・体育館で実施済み

※青梅地区は6月30日(日)に青梅市民センター等で実施済み

総合防災訓練に合わせて8月25日に緊急速報メールを配信します

「緊急速報メール」は、災害情報や避難情報を、市内の携帯電話基地エリアに滞在している方(来訪者を含む)の携帯電話、スマートフォン(NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク)に一斉に配信するシステムです。訓練として配信するもので、実災害ではありませんのでご注意ください。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

帰宅困難者心得10か条

災害により交通機能が停止すると、大きな混乱が生じます。

あわてず行動できるように、平常時も含めて次のことを心がけてください。

①あわてず騒がず、状況確認

②携帯ラジオをポケットに

③作っておこう帰宅地図

④ロッカー開いたらスニーカー(防災グッズ)

⑤机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)

⑥事前に家族で話し合い(連絡手段、集合場所)

⑦安否確認、災害用伝言ダイヤル等や遠くの親戚

⑧歩いて帰る訓練を

⑨季節に応じた冷暖準備(携帯カイロやタオルなど)

⑩声をかけ合い、助け合おう



ご利用ください 青梅市メール配信サービス

市では、電子メールを利用して、防災情報、防犯情報、行政情報を配信しています。ぜひご利用ください。

登録方法 登録用メールアドレス ☒ ome@mpx.wagmap.jp に空メールを送信または右の二次元コードから(登録案内メールが届きます)

※迷惑メール防止設定をしている場合は、「@psmail.jp」を受信できるようにしておいてください。

問い合わせ 情報システム課

